

苫小牧市長
岩倉 博文 殿

要 望 書

「新型コロナウイルス感染症」における、市内宿泊施設の収益悪化による、固定資産税・都市計画税減免のお願い

令和2年3月25日

苫小牧ホテル旅館組合 組合長 佐藤 聰
苫小牧宿泊業支配人会 代表幹事 黒井克哉

苫小牧市内の宿泊施設は、「新型コロナウイルス感染症」による、令和2年1月からのキャンセルと宿泊予約減少により、収益が大きく悪化しています。

令和2年1月「新型コロナウイルス感染症」の発生により、外国人旅行者によるキャンセルが相次ぎ、さらに2月28日北海道知事による緊急事態宣言をきっかけに、国内の宿泊予約に大量のキャンセルが入り続け、新規の予約も低調に推移しております。北海道が行った感染拡大が6月まで続いた場合の影響調査(3月16日)によると、観光影響額の落ち込みは、胆振東部地震の約10倍と想定されています。

苫小牧市も総合体育館をはじめ市内52カ所の公共施設を臨時休館されました。ウイルス感染防止から、止むを得ない対策であると理解しておりますが、苫小牧市の施設を利用したスポーツ合宿や大会行事が中止に追い込まれ、多くの宿泊予約がキャンセルになりましたことも事実でございます。

今後、「学校行事の自粛に伴う、大会行事やスポーツ合宿の取りやめ」「国内の旅行自粛ムードや風評被害」、「ビジネス出張の減少」、「外国人の渡航制限による外国人旅行者の大幅減少」が回復せず、長期に渡り見込まれた場合、宿泊業の継続自体に大きな影響がございます。

苫小牧ホテル旅館組合と苫小牧宿泊業支配人会に加盟する14施設のキャンセル調査の結果、1月からの延キャンセル数(3月10日現在)は、10,000泊を超え、その数はさらに増え続け、新規予約も低調のままです。仮に、ウイルスの終息後に、いままでの社会活動が戻ったとしても、失った売上を取り返すことはできず、各施設とも経費の削減に努めておりますが、今後の資金繰りに大きな不安を抱えています。

このような、宿泊業界の実情に配慮して頂き、各宿泊施設に4月より支払いが発生する固定資産税と都市計画税の50%以上の減免をお願いいただけないでしょうか。特段のご配慮を頂けますようお願い申し上げます。

令和2年3月25日

苫小牧市長 岩倉 博文 殿

苫小牧ホテル旅館組合 組合長 佐藤 聡

苫小牧宿泊業支配人会 代表幹事 黒井克哉

「苦小牧ホテル旅館組合」加盟施設

くつろぎの湯苦小牧ホテル杉田

佐竹旅館

さわだ旅館

新苦小牧プリンスホテル和なごみ

スマイルホテル苦小牧

東横INN苦小牧駅前

ビジネスホテルモトナカノ

ホテルウイングインターナショナル苦小牧

ホテル於久仁

ホテル苦小牧グリーンヒルズ

「苦小牧宿泊業支配人会」加盟施設

グランドホテルニュー王子

コンフォートホテル苦小牧

ドリーミン苦小牧駅前

ホテルステイビレッジ

合計 14 施設